

令和6年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会 会議録

日 時：令和6年10月23日（水）13時30分～15時

会 場：瑞浪市化石博物館別館 研修室

出席者 <協議会委員> 加納 礼爾（学校教育関係者）会長
吉田 英一（学識経験を有するもの）
西尾 京子（家庭教育の向上に資する活動を行うもの）
<事務局> 水野 義康（館長）・安藤 佑介
欠席者 <協議会委員> 松岡 敬二（学識経験を有するもの）
中山 京三（社会教育関係者）

1 あいさつ

課長より開会の挨拶がなされた（内容は省略）。

加納会長より挨拶がなされた（内容は省略）。

2 報告事項

令和6年度事業中間報告について

3）化石博物館施設及び展示室の改修について

委 員：雨漏り対策とあるが、屋上や展示室を全て改修するのか？

事務局：屋上については全面に防水のコーティングと防水シートを貼る。展示室については、天井の一部を補修する予定である。

4）国民文化祭について

委 員：みずなみ化石フェスタの来場者数は来館者に入るのか？

事務局：別々の施設のため、化石博物館の来館者数には入れない。

委 員：標本の借用や広報活動をきっかけに、つながりができた博物館も多いと思う。今後は各博物館とのチラシや文献交換などの連携を深めてほしい。

事務局：すでに多くの自然史系博物館とはチラシ配布や文献交換などの連携を行っている。今後も連携を維持していきたい。

委 員：パレオパラドキシアは古生物の中では地味な方である。このイベントをきっかけにこの生物をPRして、泳いでいる骨格なら瑞浪に来れば見れるというような博物館のPRにもつなげてほしい。イベントを開催しました、で終わるのではなく今後の博物館の集客につなげてほしい。

事務局：10月27日には座談会を開催するので、この古生物の発信を行い、あわせて化石博物館や瑞浪産化石の発信も行いたい。

5 協議事項

令和6年度事業について

1) 普及活動の充実

・①講座等の開催

委員：近年の猛暑により化石採集など野外で行うイベントも開催が大変である。冷房設備などを導入してはいかがか？

事務局：野外学習地での冷房設備使用は難しいが、例えばエコミストのようなものを化石博物館入口に設置するなど検討したい。

2) 資料の充実と調査・研究

・④化石博物館研究報告の発行

委員：近年、多くの機関が学術誌をオンラインで公開している。化石博物館の研究報告もオンラインで公開しているため、完全にオンライン化してはいかがか？

事務局：毎年、研究報告送付の際に今後も継続して受け入れるかのアンケートをとっている。冊子版での受け入れを希望する機関も多いため、今後も出版する予定である。印刷数については、受け入れ機関数に応じた数にしており、来年度は230部の予定である。

3) その他

・①文化施設の再編について

委員：今後再編を行う上で今の時期から他の博物館や機関を視察して情報収集したほうが良いと思われる。

事務局：近隣の博物館については、情報収集済みだが、今後は範囲を広げ、愛知県や三重県の博物館を候補に挙げ、必要であれば旅費を予算要求する。